

特 記 仕 様 書

- 1 契約の相手方となった者（以下「受注者」という。）は、関係法令等の規定に基づく適正な車両点検整備を行わなければならない。
- 2 車両制限令第4条の制限値を超過し道路を通行する場合は、事前に道路管理者へ道路法第47条の2第1項に基づく特殊車両の通行許可を申請し許可を得たうえで通行すること。
- 3 受注者は契約後、速やかに整備管理者又は定期整備担当者と工場入庫の時期等について打ち合わせを行うこと。

工場入庫後は、速やかに当該車両の必要箇所の分解を行い、宗谷総合振興局長の指定する検査員による中間検査を受けなければならない。

なお、中間検査において、交換の必要性等がない場合又は修繕すべき箇所及びそれに使用する部品に変更が生じた場合は必要に応じて設計変更する。

また、設計変更に伴う変更・増減に対し見積書を提出すること。

- 4 部品・油脂等について、規格・銘柄の指定のあるものは指定品同等品以上のものを使用することとし、特に指定のないものについてはメーカー指定品同等以上のものを使用すること。